学校番号	3028

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)世界史研究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	グローバルワイド　最新世界史図表（第一学習社） 2025 共通テスト対策【実力完成】直前演習　歴史総合・世界史探究(ﾍﾞﾈｯｾ)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

◇世界史は社会科の他の科目の内容と密接に結びついています。授業で学んだ歴史的事象を、日本史と連動させて考えたり、地理的にとらえ直すよう、常に心がけること。そのために、ワークシートや小論文などの課題にも積極的に取り組むことが重要である。
◇現代社会の出来事について世界史の大きな枠組みを踏まえて考察し、自らの意見や考えを持ち、発信できる力を身につけてほしい。そのために、諸資料の読み取りの方法にも精通すること。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
◇知識を活用し長期的かつ広範囲な視野で歴史を眺める習慣をつけ、世界史の面白さを感じる。

【思考力、判断力、表現力等】
◇世界史の根幹にかかわるテーマについて、グループワークなどを活用して思考を深める。

【学びに向かう力、人間性等】
◇問われたことに的確にこたえる応答性を主体的な取り組みを通じて身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：知識・技能	b:思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古代から近世を含めた世界の歴史に対する関心を高め、文化の多様性を追究する意欲を持つ。また、国際社会で責任を持って行動できる、日本国民としての資質を形成しようとしている。	世界史を学びながら日本史的・地理的事象との関連性を含めて多面的に考察し、現代社会の変化を公正に判断して、歴史的経過・結果や自らの意見を適切に表現できている。	与えられた教材の中の史料や、自らの探究活動で得られた諸資料をもとに、有用な情報を選択し、適切に解釈して、小論文やレポートの作成にうまく生かしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期Ⅰ	諸地域世界の形成	＊世界史と自然の関係 ＊世界史と日本史の関係 ＊西アジア・地中海世界 ＊南アジア・東南アジア世界	a:世界史の源流となる諸地域世界の形成過程に、強い関心を持っている。 b:学習内容を多面的に考察し、歴史的経過や因果関係を適切に表現できている。 c:必要な諸資料を収集し、取捨選択して、与えられた主題に適した年表・図・文章などをまとめることができている。	定期考査	ワークシート	グループワーク
前期Ⅱ	諸地域世界の形成	＊東アジア世界 ＊中央ユーラシア世界 ＊アフリカと南北アメリカ世界 ＊主題学習「時間軸で再整理する世界史」	a:アジアを含む諸文明圏の発展過程を、意欲的に考察している。 b:同上 c:同上	定期考査	ワークシート	小論文
前期Ⅲ	諸地域世界の交流と再編	＊イスラーム世界の登場 ＊ヨーロッパ世界の形成と展開 ＊モンゴル帝国と諸地域の交流 ＊主題学習「空間軸で再整理する世界史」	a:イスラーム世界やモンゴル帝国を含めた全ユーラシア規模のネットワークが果たした役割について、強い関心を持っている。 b:同上 c:同上	定期考査	ワークシート	小論文
後期Ⅰ	諸地域世界の統合と変容	＊近世ヨーロッパの諸事象 ＊アジアの帝国と大交易時代 ＊19 世紀の欧米諸国 ＊主題学習「絵画・文学・音楽でよみとく歴史」	a:ヨーロッパの進出とアジアの繁栄を軸に、世界の一体化と社会の変容を理解する意欲が感じられる。 b:同上 c:同上	定期考査	ワークシート	小論文
後期Ⅱ	地球世界の到来	＊帝国主義時代以降の世界 ＊第二次大戦後の世界 ＊主題学習「世界史を未来に生かす」	a:戦後史の理解をいっそう深めながら、人類が直面する課題について自主的な考察を深めている。 b:同上 c:同上	定期考査	小論文	ワークシート

※　表中の観点について　a: 知識・技能　　b:思考・判断・表現　c: 主体的に学習に取り組む態度